

# 新世紀人文学論究

第10号  
Feb. 2026

## ■思索の言葉

日本軍政下ジャワの華僑社会の歴史経験を解明する試み 津田浩司 1

## ■特集:戦後80年の人文科学研究の現在 ——

世界大転換期における人文科学研究の現在と展望:二つの自分史的論評から 田中 寛 3  
帝国日本の文化工作装置としての善隣協会

——「蒙疆政権」の回教徒の調査から見る文化工作の困難さ—— 酒井順一郎 15  
太平洋戦争末期にビルマ人を書く

——高見順「ウ・サン・モンのこと」を読む—— 松本和也 35

インドネシア独立戦争に参加した日系インドネシア人一世 伊藤雅俊 55  
——日系二世の集合的記憶に関する試論——

マレーシア・バトパハの戦後80年 檜山純子 69  
——日本語教育要員の手記にみる共生と戦争の記憶——

戦後80年、風化する「死の鉄道」 ビ・ヤトン・ケワツタ、田中 寛 81

## ■日タイ言語文化研究 ——

戦前・戦中の南タイにおける諜報工作と日本語通訳 山口雅代 85  
——ソンクラーでの調査と共に——

高度外国人材獲得戦略におけるタイ人留学生の受け入れ促進 森 康真 103  
——タイ側教育関係者の視点に基づく課題分析と提言——

## ■文学・比較文化研究 ——

高橋和巳作品におけるサラリーマン（前） 東口昌央 115  
——『我が心は石にあらず』論への架橋として（2）——

日中成語の対照研究——植物に関する事例を中心に—— 宋 睿 131

## ■言語学研究 ——

前提的提示法に使われる「提示体言句」としての「已然形ば」 石橋教行 145  
——旧稿「新しい語形変化表」の訂正によせて——

現代日本語の「素」の意味・用法 榎山泰斗 163

中国における漢日辞書の編集・研究・使用の現状分析と今後の展望 田 潤潤 177

中国語の「～然」と日本語の「～然」の対照研究 戴 竟 197

図地分化に基づく認識領域と事態と領域との連続性 祁 吉曼 213  
——「なら」文と「たら」文を中心に——

現代中国語の“太 tài”と他の程度副詞との共起について 時 衛国 225

文修飾副詞をめぐる日タイ対照研究——対訳を用いた考察—— ビ・ヤトン・ケワツタ 241

【彙報】 研究会会則・投稿規程、執筆者一覧、[追悼]、編集後記 253